

防災活動

※世帯数及び人口は令和3年4月1日現在

北区

小学校区・地区名

横井学区

世帯数

7,160 世帯

人口

15,938 人

■組織の概要

横井学区は山陽道岡山インターチェンジ、岡山ー津山を結ぶ国道53号線があり交通の要所であるため多くの商業施設が存在している。現在、横井小学校には約900名が在籍しており、15の町内会、10の子ども会を有し、横井学区の安全安心ネットワークは37もの団体から構成されている。

横井学区を含む津高地区は大きな災害が少ない土地であったため、防災への関心が薄かった。しかし平成30年7月豪雨で多くの被害に見まわれたことをきっかけに防災への関心が高まり、令和元年には「横井学区連合防災会」を設立した。



自主避難場所の設営訓練

■活動の成果

「自主避難所の設営」、「避難経路を作成することで避難場所の再確認」、「応急処置の体験」など、一度でも参加することで災害発生時に自分のとるべき行動が分かってよかった。との声をいただいている。

仕事等で参加できなかった家族にも話を伝えてもらうことで防災意識をもつ人が少しずつ増え、年々、参加希望者が増えてきている。これからも、過去の災害を風化させる事なく定期的に実施していくことが肝心である。



心肺蘇生訓練



平成30年7月豪雨 津高地区

■活動の取組内容

『富原町内会防災研修会』、『津高台町内会防災知識を学ぶ』、『横井学区愛育委員会防災講座』など学区単位だけでなく町内会単位でも**防災講座**を開講し、各講座には毎回多くの方が参加している。また、複数の町内会でも**避難訓練**を実施し、高齢者への声掛け確認、避難経路の改定など地域全体で連携の取れた避難にも力を入れている。

■工夫していること

こちらからの一方的な講義にならないよう、地図作成や心肺蘇生など、参加者との共同作業を心掛けている。また横井学区は町内会の数が多く連携をとることが大変だが、連合町内会、青少年育成協議会などが地域の連絡網の役割を果たしている。

【協働する団体等】

岡山西消防署、単位町内会、連合町内会、横井学区消防団、津高環境衛生協議会、他